關白被負、

〔親長卿記〕文明十一年九月廿九日、前藤宰相（政基）來、有將棊、後九月二日、中御門中納言、日野新中納言、前藤宰相等來、前藤相公入夜又來、有將棊、光忠來、

〔元長卿記〕明應十年（文龜元年）四月九日、萬松軒有象戲相伴、

〔二水記〕永正十七年五月廿日、早朝參萬松軒（略）、（中）有將棊、晚歸家了、

〔言繼卿記〕大永七年七月廿七日壬寅、九時分ヨリ四條亞相資直卿來候て、暮々迄小將棊候、十一月廿二日丙申、柳原罷候て御添番之事申候、又小象戲ヲ五バンサシ候、四バン勝候、

〔時慶卿記〕文祿二年閏九月七日、於番所將棊、久我富小路トサシ及更、是密々儀也、

〔川角太閤記（四）〕十五日、（文祿四年七月）五ツ時分（略）、（中）關白樣（豐臣秀次）は、龍西堂と御將棊被遊候處へ、篠部淡路奏者にて、福島大夫、池田伊豫守、御使に被參候と申上候處、何事にや御意なり、ケ樣に被成候上は、たとへ御中直り候共、此御遺恨はて申間敷と被思召候間、御切腹被成候へと兩人申上候と、淡路守申上候處に、左もあるか、然らば此將棊は秀次勝の將棊かと被思召候、皆々見よとの御意にて見申候處に、如御意御勝の御將棊にて御座候、桂馬にてつまり申候に相究候、御取被成候駒をば、箱の身の方へ御入被成、龍西堂方へ被取候駒をば、蓋に御入させ、駒崩すなと御意候て床へ御上させ被成置候、（略）、（下）

〔當代記〕慶長十二年六月、京師將棊指共、此頃駿府江戸へ下、此時ノ上手、名ハ宗桂ト云者也、是京都町人也、是ニ角行弱キサシ手、春知、觀乘坊宗古（是ハ宗桂子）等也、此宗桂ハ信長代ヨリノ指手也、今年五十三歲ナリ、十三年三月、圍碁上手本因坊、自去正月在江戸、將軍可見象棊給トテ、自京都宗桂被召下、十日ニ十番サシケル、（一日ニ一番宛）勝負相交成持、象棊ハ本因坊、宗桂對揚也、此頃從江戸上駿府令逗留、